

# プレアボイド報告(未然回避報告) 平成27年度2月(後期) 締め報告分

No	患者情報		報告に関する患者追加情報		担当薬剤師	情報発端	原因・疑義照会内容	情報提供前			情報提供後			情報提供後の変更事由	報告日	
	性別	年齢	疾患・副作用情報	治療中の疾患				薬剤名	投与量	用法	薬剤名	投与量	用法			
1	女性	46歳			調剤監査	お薬手帳	同種同効薬重複投与	エビナスチン塩酸塩	20mg	昼食後	中止			薬剤中止	2016/2/20	
【報告者のコメント】当薬局に来局の3日前に、鼻水・つまりがひどく耳鼻科に受診され、ディレグラ錠2T朝夕14日分処方。その後エビナスチンを継続して服用している事を医師、薬局共に伝えたが、一緒に服用していいとの返事だったとの事。エビナスチンの効果不十分も考えられるので処方医へ疑義照会し中止となった。耳鼻科・薬局共にディレグラとエビナスチン併用可と言われたとの事だが意図は不明																
2	女性	81歳			調剤監査	お薬手帳	重複投与	レンドルミンD	1錠	就寝前	中止			薬剤中止	2016/2/8	
【報告者のコメント】胃腸科よりレンドルミンD錠寝る前にて処方(2/5処方)されている事をお薬手帳にて確認。処方医へ疑義照会後中止となった。																
3	女性	74歳			調剤	薬歴	禁忌	エビスタ錠60mg	1錠	朝食後	中止			薬剤中止	2015/11/20	
【報告者のコメント】平成19年より近医にてSERM服用継続。平成26年10月に下肢浮腫発現の為、医師会病院紹介となりSERM中止及びワーファリン開始となる。平成27年1月でワーファリン中止となり、以降現在に至るまでバイアスピリン100mg1錠服用中。SERM中止後の治療はエディロールカプセル0.75ug1pで継続していたが骨量減少の為、エビスタ60mg1錠が処方追加となる。平成26年10月エピソード時の正式な病名は不明のままであったが、深部静脈血栓症が強く疑われたため、近医に当時のカルテ診断名検索を依頼した所、照会先からの確定診断名が深部静脈血栓症であったため、深部静脈血栓症の既往歴がエビスタ錠の禁忌該当である事を医師に疑義照会しエビスタ錠処方中止となる。																
4	男性	性後24日	体重4.1kg	肛門周囲腫瘍	処方箋監査	処方箋	過量投与	ツムラ排膿散及湯	0.8包(2g)	朝夕食前	ツムラ排膿散及湯	0.8g	朝夕食前	薬剤減量	2016/1/5	
【報告者のコメント】新患でFAXで事前処方せん受付。生後24日で体重の記載があり、過量投与を疑い疑義照会し減量となった。単位の記載ミスの方。																
5	男性	70歳代	ユリフで性欲減退・ベタニスで頻尿悪化	高血圧・狭心症・BPH	処方箋監査	お薬手帳・薬歴	禁忌	ザルティア錠5mg	1錠	夕食後	タムスロンOD0.2mg	1錠	朝食後	薬剤変更	2016/1/5	
【報告者のコメント】前立腺肥大による頻尿症状が改善されずザルティアが処方された。お薬手帳と薬歴により、併用禁忌Bのニコランマー服用中の為処方医に疑義照会。ザルティア→タムスロンへ処方変更。手帳は病院でも見せていたとの事、医師がニコランマーを見落していたよう。																
6	女性	90歳代			処方箋監査	患者の症状	誤転記・誤処方	ツムラ柴苓湯	9.0g	毎食前	ツムラ柴苓湯	7.5g	毎食前	薬剤変更	2016/2/	
【報告者のコメント】医院の処方入カミスであったが、患者の症状と薬剤の効果に違いが認められたため、疑義照会を行ったところ発覚した。																
7	女性	30歳代		統合失調症	調剤監査	お薬手帳	併用禁忌	クラリスロマイシン	400mg	朝夕食後	レボフロキサシン	500mg	夕食後	薬剤変更	2015/12/16	
【報告者のコメント】他医院よりベルソムラ20mg服用中でクラリスロマイシンは併用禁忌のため処方医に疑義照会し、レボフロキサシンに変更になった。																
8	女性	70歳代		突発性難聴	薬剤管理指導	お薬手帳	重複投与	ブルゼニド錠5mg	6~2錠	朝夕~朝	ブルゼニド錠5mg	6~2錠	朝夕~朝	薬剤中止	2016/2/12	
【報告者のコメント】当該患者様は耳鼻咽喉科にて、定期的にめまい薬の処方歴有。今回難聴傾向があるという事で臨時薬としてステロイド剤が処方されたが、お薬手帳を持参されており服用薬確認を行ったところ、重複薬があった為、疑義照会後メチコパール500mg3錠は中止となった。																
9	女性	70歳代			処方箋監査	薬歴	同種同効薬重複投与	ピロリ菌除菌療法 ラニチジン150mg	1錠	朝夕食後 朝食後	ピロリ菌除去療法 一時中止		朝夕食後		2016/2/26	
【報告者のコメント】同一診療科で既に「ラニチジン錠150mg」を服用継続中の患者。ピロリ菌除菌療法期間中は「ラニチジン錠150mg」を中断する指示であることを医師に確認後、患者に説明した。※医師は診察時に説明したそうだが、「同種同効薬なので重複する」という理由がきちんと理解できていなかったため来局時は忘れていた。																
10	女性	60歳代		乳癌・骨粗鬆症	薬剤管理指導	お薬手帳	併用禁忌	アロマターゼ阻害剤 エビスタ錠60mg	1錠	朝食後	アロマターゼ阻害剤 中止			薬剤中止	2016/3/3	
【報告者のコメント】乳癌がドライン、ATAC試験によるとAI、SERMの併用はAIの効果が減弱すると考えられている。本患者は乳癌外科、整形外科を併科受診していた。エビスタについて、その適否を乳癌外科医に問い合わせ、エビスタは不可であるとの指示もあり整形外科に本件を疑義照会し、エビスタ中止となる。																
11	男性	70歳代			薬剤管理指導	お薬手帳	重複投与	グラクティブ50mg グリメピリド1mg ファモチジンD20mg	1錠 2錠 1錠	朝 朝夕 朝	DO処方			処方日数・服用開始日変更	2016/3/3	
【報告者のコメント】1/7、63日分処方、12月末に同成分薬を循環器科薬と共に他医院より一か月分処方されていたが自己判断で転院、1/7受診時循環器科DRは残薬がある事を承知して処方ではなく1/28再診としていたが、糖尿病内分泌科DRは残薬がある事を承知しておらず(手帳に12月の処方情報があったためか)63日分処方、服薬指導時に残薬があり重複することが分かり疑義照会、残薬終了後より服用との指示で処方日数を変更された。1/7~63日分を1/29~3/10分までの41日分へ日数変更																
12	男性	50歳代		関節リウマチ	薬剤管理指導	お薬手帳・薬歴	重複投与	ロキソニン錠60mg ムコスタ錠100mg エハリゾン塩酸塩50mg	3錠 3錠 3錠	毎食後	エハリゾン塩酸塩50mg	3錠	毎食後	薬剤中止	2016/3/4	
【報告者のコメント】他医院より、リウマチ治療のため、セレコックス200mg、メナテレンコカアセル15mg、リンデロン0.5mg、リマチル100mg、メトレート2mgが定期処方。今回処方のロキソニン60mgとセレコックス200mgは効果重複のため疑義照会。ロキソニン、ムコスタ錠は中止となった。																
13	男性	68歳		喘息・COPD	薬剤管理指導	お薬手帳	禁忌	クラリシッド200mg ベルソムラ15mg	1錠 1錠	寝る前 寝る前	クラリシッド200mg	1錠	寝る前	薬剤中止	2016/3/7	
【報告者のコメント】3年前よりクラリシッド継続内服している患者。H27.12月末に他医院院内処方にてベルソムラ処方。H28.1月来局時にお薬手帳にて併用されていることに気付く。院内処方医院に疑義照会後ベルソムラ中止となり副作用増悪を未然に防いだ。																
14	女性	50歳代			薬剤管理指導	薬歴・患者の症状	誤転記・誤処方・禁忌	アルメタ軟膏	5g	口唇	アラセナ軟膏	5g	口唇	薬剤変更	2016/3/8	
【報告者のコメント】口唇ヘルペスで通院中。ウイルス皮膚感染症に禁忌であるアルメタ軟膏が処方されたため、疑義照会を行なったところ、アラセナ軟膏に変更になった。→類似名の選択ミスによる誤処方																
15	男性	50歳代			処方箋監査	処方箋	併用禁忌	クラリシッド200mg クリアミン配合錠	2錠	朝夕食後	クラビット500mg クリアミン配合錠	1錠	朝食後	薬剤変更	2016/3/8	
【報告者のコメント】処方箋で内容確認していたところ、併用禁忌であるクリアミン配合錠とクラリシッドが処方されていた為、医師に疑義照会を行い、クラビットに変更になった。																
16	男性	50歳代	花粉症	逆流性食道炎	調剤監査	お薬手帳	併用薬により検査が無効になる為								診断延期	2015/12/
【報告者のコメント】ピロリ菌除菌後に4週間経って感染診断をする為、その間にPPIや抗生剤を服用すると陰性になる可能性がある。お薬手帳で他院よりクラビットが処方されている事を見つけ主治医に疑義照会したところ、1週間後に予定されていた判定を延期することになった。																

# プレアボイド報告(未然回避報告) 平成27年度2月(後期)締め報告分

No	患者情報		報告に関する患者追加情報		担当薬剤師	情報発端	原因・疑義照会内容	情報提供前			情報提供後			情報提供後の変更事由	報告日
	性別	年齢	疾患・副作用情報	治療中の疾患				薬剤名	投与量	用法	薬剤名	投与量	用法		
17	女性	50歳代		高血圧・便秘	調剤監査	お薬手帳	過量投与	防風通聖散	7.5g	毎食前	ラキソベロン	2錠	寝る前	薬剤変更	2016/2/10
<p>【報告者のコメント】便秘で防風通聖散の処方があったが、お薬手帳を見ると他院で芍薬甘草湯が処方されていた。甘草の量が合計8gとなり1日量上限を超える為疑義照会し漢方が中止となり、ラキソベロンに変更になった。高血圧も治療中の為甘草による血圧上昇も考える為、芍薬甘草湯を処方した医師に高血圧治療中を伝えるように話をした。</p>															
18	女性	80歳代			薬剤管理指導	お薬手帳	重複投与							服薬指導	2016/3/4
<p>【報告者のコメント】医療センターでボルタレン、整形外科にてジクロフェナクゲルの処方有。両者は同薬効成分である事を伝え、それぞれの病院に手帳を見せて処方が重複していることを報告するように指導。また同時に塗布しないことを指導</p>															
19	女性	50歳代		緑内障	薬剤管理指導	薬歴	禁忌	ブスコパン	1錠	腹痛時	中止			薬剤中止	2016/2/23
<p>【報告者のコメント】薬歴により、緑内障の病歴記載有。緑内障の患者にはブスコパン禁忌薬のため、疑義照会しブスコパン中止となる。</p>															
20															
<p>【報告者のコメント】</p>															